

千葉県による公社等外郭団体に関する情報公開

団体名	財団法人千葉県福祉ふれあい財団	県所管課	健康福祉部児童家庭課
代表者	勝山信	電話	043-223-2323
所在地	千葉市中央区中央4-13-28		
電話	043-221-7007		
設立年月日	昭和47年1月20日		
ホームページアドレス	<a href="http://www.nenrin.or.jp/chiba/">http://www.nenrin.or.jp/chiba/</a>		
事業内容	児童から高齢者までの幅広い年齢層の県民を対象とした施設を設置し、管理運営するとともに、子育てを支援し子どもが健やかに生まれ育つ環境づくりを推進するための事業及び高齢者福祉の増進を図り、明るく豊かで活力ある長寿社会を実現するための事業を実施することにより、県民福祉の増進と文化の向上を図る。		

1 出資等の状況(H18.4.1現在)

(単位:千円位)

資本金(又は出捐金)	150,824
------------	---------

出資(出捐)者	出資(出捐)額	出資(出捐)割合	出資(出捐)順位	備考
千葉県	83,257	55.2%	1	
千葉県生命保険協会	13,100	8.7%	2	
千葉銀行	10,000	6.6%	3	
千葉興業銀行	5,000	3.3%	4	
京葉銀行	5,000	3.3%	4	
千葉県損害保険同業会	3,500	2.3%	6	
千葉市	2,318	1.5%	7	
日本交通公社	2,000	1.3%	8	
千葉そごう	2,000	1.3%	9	
その他	24,649	16.3%		

2 社員(会員)の状況(社団法人のみ)(H18.4.1現在)

社員総数	
------	--

区 分		社員数	主な者
内 訳	地方公共団体		
	県		
	市町村		
	国又は政府系機関		
	民間法人		
その他			

### 3 財務状況 ※

#### (1)貸借対照表から

(単位:千円)

項 目	15年度	16年度	17年度
総資産	6,423,186	6,129,990	5,862,326
負債	2,198,996	2,205,336	1,354,927
資本	4,224,190	3,924,654	4,507,399
累積損益	3,973,666	3,673,830	4,256,574

#### (2)損益計算書

(単位:千円)

項 目	15年度	16年度	17年度
総収入 (＝売上高＋営業外収益＋特別利益)	2,047,019	1,913,986	2,823,301
経常損益	△198,007	△299,536	582,744
当期損益	△198,007	△299,536	582,744
減価償却前当期損益	186,670	38,594	889,442

#### 4 年度末借入金残高等の状況

(単位:千円)

項 目	15年度	16年度	17年度
借入金残高	1,905,700	1,737,503	747,071
うち県からの借入金残高	675,071	675,071	675,071
うち県以外からの借入金残高	1,230,629	1,062,432	72,000
うち県の債務保証又は損失補償の対象となる借入金残高	1,230,629	1,062,432	72,000

※公益法人については、次のとおり公益法人会計基準に読み替える。

〈貸借対照表〉 資本⇒正味財産の部合計

累積損益⇒基本金等を除く正味財産額

〈損益計算書〉 損益計算書⇒収支計算書及び正味財産増減計算書

総収入(＝売上高＋営業外収益＋特別利益)⇒総収入(＝当期収入合計－借入金収入等(損益に無関係の項目))

経常損益⇒当期正味財産増減額－(特別損益項目の資産の増減＋特別損益取引に係る当期収支差額)

当期損益⇒当期正味財産増減額

減価償却前当期損益⇒当期正味財産増減額(減価償却を行っている場合は、減価償却費を加える)

5 県の財政支出の状況

(単位:千円)

項目	目的、内容、算出根拠等	15年度	16年度	17年度
委託料	千葉県生涯大学校管理運営受託、富津公園水泳場管理運営受託、富津公園巡回受託、他	404,273	493,275	421,616
補助金・交付金・負担金	財団法人千葉県福祉ふれあい財団施設建設及び運営等に係る事業に対する補助金交付要綱	938,317	923,638	1,819,955
その他 (利子補給・税の減免額・出資金・貸付金・その他)	ユートピア笠森経営安定化資金貸付要綱	194,656	0	0
合計		1,537,246	1,416,913	2,241,571

6 役職員の状況(各年度7月1日現在)

(単位:人)

項目	15年度	16年度	17年度
常勤役員数	5	5	4
うち県退職者	2	3	3
うち県派遣職員	3	2	1
常勤職員数	84	74	66
うち県退職者	0	0	0
うち県派遣職員	22	13	12

## 7 事務事業の見直しの状況

### 財団法人千葉県福祉ふれあい財団の解散

#### 1 (解散時期)

平成18年9月末

#### 2 事業の移譲・廃止

(1)千葉県子どもの国の地元市または民間企業への移譲

(2)長寿社会振興事業⇒ 千葉県社会福祉協議会へ引継ぎ

(3)千葉県生涯大学校⇒ 指定管理者制度により民間企業に委託

(4)富津公園施設の運営⇒指定管理者制度により民間企業に委託

(5)ユートピア笠森 ⇒ 廃止後民間企業へ移譲

(6)プール事業(酒々井ちびっこ天国)の酒々井町移譲又は廃止(解体撤去)

### (参考)公社等外郭団体の見直し概要(千葉県行政改革推進本部決定)

改革方針	廃止(千葉県福祉ふれあい財団の解散)
改革の期間	平成18年9月30日
改革の概要	(1)千葉県子どもの国は、平成18年9月末まで運営後、地元市原市又は民間企業へ移譲(2)酒々井ちびっこ天国は平成18年8月末まで営業後、地元酒々井町へ移譲又は廃止(解体撤去)(3)ユートピア笠森は、平成17年度末で廃止(平成18年5月民間企業へ売却済み)(4)長寿社会振興事業は千葉県社会福祉協議会へ委託(5)生涯大学校及び富津公園管理運営事業は指定管理者制度により民間企業に委託
改革の効果	事業廃止による補助金等の県負担の削減効果は、年間7億円程度となる。
改革に伴う課題	千葉県子どもの国の底地は、千葉県企業庁が管理する工業用水用地であり、公有財産の目的外使用という問題があるため、民間企業に移譲する場合に、様々な制限がある。企業庁と協議を重ね公募売却を適切に実施する必要がある。
その他	